



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月20日

企業・団体名 大高建設株式会社

代表者名 代表取締役社長 大橋 聡司

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 全てにおいて安全を最優先し、無災害・無事故(休業災害ゼロ、公衆災害ゼロ、熱中症ゼロ)を目指す</p> <p>【実施状況】 当社では、安全を経営の最重要課題として位置づけ、無災害・無事故の実現に向けた取組を継続している。令和7年度において「安全管理優良受注者」として選定され、安全管理体制が高く評価された。 また、生成AIを活用し、目視点検と併用することで、客観性と精度の高い安全巡視を実施している。さらに、生成AIによる現場確認やKY事項の確認に加え、同工種における過去の事故事例をデータベースから抽出し、KY活動に反映させることで、活動の質の向上およびマンネリ化の防止につなげている。</p>
2	<p>【目標】 廃棄物の削減に努め、環境に配慮した施工技術の推進</p> <p>【実施状況】 施工に伴う環境負荷の低減を目的として、粉塵の発生を伴う作業においては、防災シート、ポリシート、ブルーシートおよび仮間仕切りを使用し、作業エリアを完全に養生することで、粉塵の飛散防止を徹底した。 また、騒音・振動・粉塵の発生リスクを考慮し、作業時間を適切に設定するとともに、現場内には仮囲い(ボード張りおよび隙間テープ)やシート養生を設置し、周辺環境への影響を最小限に抑える取組を行った。</p>
3	<p>【目標】 新4K・新3Sを中心とする働き方改革で、誰でも平等に働け、安全・安心・快適な職場づくりとダイバーシティの推進(新4K=給料・休日・希望の持てる・格好いい、新3S=smart, sustainable, safty)</p> <p>【実施状況】 社員が安心して働ける職場環境づくりのため、本社および現場に産業看護師を配置し、健康管理体制の強化を図っている。 また、ダイバーシティを推進し、多様なバックグラウンドを持つ人材が能力を発揮できるよう、公正な雇用機会の提供に取り組んでいる。2018年以降、健康経営優良法人の認定を継続し取得し、令和7年度にはくろみん認定も取得した。 さらに、北日本放送番組「こんにちは富山県です」において、子ども・若者の希望がかなう未来に向けた企業の取組として、当社のテレワークや育児休暇制度が紹介された。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。